

平成22年3月期 第2四半期決算説明会



平成21年11月9日

ご注意

本資料に含まれる予想に関する記載は、現時点における情報に基づき判断したものであり、今後、日本及び世界の経済動向、新たな技術開発の進展により変動することがあります。従って、当社としては、その正確性を保証するものではありません。

Contents

1. 第2四半期（累計）業績の総括
2. 第2四半期（累計）の概況
3. 計測・計量機器事業 実績-1
4. 計測・計量機器事業 実績-2
5. DSP事業の業績について
6. 医療・健康機器事業 実績-1
7. 医療・健康機器事業 実績-2
8. 財務分析（貸借対照表）①
9. 財務分析（貸借対照表）②
10. 財務分析（キャッシュフロー）
11. 設備投資・減価償却費の推移
12. 22年3月期通期見通し
13. 計測・計量機器事業 見通し-1
14. 計測・計量機器事業 見通し-2
15. 医療・健康機器事業 見通し-1
16. 医療・健康機器事業 見通し-2
17. トピックス1
18. トピックス2
19. トピックス3
20. トピックス4
21. トピックス5
22. トピックス6
23. 補足資料

第2四半期（累計） 業績の総括



ハイライト

1Qは景気回復の遅れと設備投資抑制の長期化の影響により最悪期(営業利益▲1,190百万円)を迎えたが、2Qからは回復の兆し(▲377百万円)

あらゆる角度から経費の抑制に努めた
(販管費 前期比▲16.1%)

DSP事業は、自動車業界への更なる深耕を深める一方、中国では販売体制を強化

第2四半期（累計）の概況



（単位：百万円）

連結損益	21／3期 2 Q 累計	22／3期 2 Q 累計	前 年 同 期 比	2 Q 累 計 予 想	予 想 比	コ メ ン ト
売 上 高	16,292	12,486	-23.4%	14,250	-12.4%	
売 上 原 価	8,563	7,227	-15.6%	7,670	-5.8%	
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	8,132	6,826	-16.1%	7,180	-4.9%	開発費をはじめ全般的な 費用削減を推進
営 業 利 益	-403	-1,567	- %	-600	- %	
経 常 利 益	-718	-1,469	- %	-850	- %	為替差益279百万円
税 引 き 前 利 益	-725	-1,504	- %	-885	- %	
当 期 純 利 益	-591	-2,192	- %	-520	- %	繰延税金資産の取崩し等
1 株 当 たり 利 益 （ 円 ）	-26.67	-109.00	- %	-25.85	- %	

（注）22年3月期2 Q累計予想は、5月15日付の「平成21年度3月期決算短信」にて発表した予想であります（以下同じ）。

計測・計量機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	前 年 同 期 比	2 Q 累 計 予 想	予 想 比
計測・計量機器 事業	売 上 高	8,162	6,711	-17.8%	7,980	-15.9%
	売 上 原 価	5,056	4,124	-18.4%	4,510	-8.6%
	販 管 費	4,057	3,754	-7.5%	3,990	-5.9%
	営 業 利 益	-951	-1,167	- %	-520	- %

業績のポイント

1. 厳しい市場環境の中、設備投資抑制の影響が新規事業から既存事業まで全般に亘った事から大幅な売上減
⇒売上高は前期比17.8%減少
2. 製造原価の低減、開発費を主とした販管費の削減に努めたものの、売上減少の影響大
⇒営業赤字 (▲1,167百万円)

計測・計量機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製 品 種 別	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	前 年 同 期 比	2 Q 累 計 予 想	予 想 比
計 測 機 器	816	1,552	+90.2%	1,757	-11.7%
計 量 機 器	5,451	4,091	-24.9%	4,493	-8.9%
計測・制御・シミュレ ーションシステム(新規)	1,602	1,036	-35.3%	1,632	-36.5%
電 子 ビ ー ム 関 連 ユ ニ ッ ト	293	32	-89.1%	98	-67.3%
売 上 合 計	8,162	6,711	-17.8%	7,980	-15.9%

計測機器

: 設備投資の抑制等により主力の引張・圧縮試験機は不振だったが、買収したサム電子機械とベスト測器がフル寄与したため前期比大幅増

計量機器

: 国内・海外ともに低調に推移(海外は円高の影響もあり)したが、後半は低価格帯製品を中心に持ち直しつつある

DSP

: 去年好調であった米国が上期不振。その一方、大型案件が国内・米国・中国で増えてきており、中国では販売体制の強化を図った

電子ビーム関連ユニット

: 引き続き厳しい市況環境が継続したため大幅な売上減

DSP事業の業績



(単位：百万円)

	用途種別	20/3期 (実績)		21/3期 (実績)		22/3期 (実績)
		上期	下期	上期	下期	上期
新規事業	自動車関連	1,289	1,254	1,465	1,722	880
	試験機関連	78	60	51	41	29
	その他	157	68	86	162	127
	小計	1,524	1,381	1,602	1,925	1,036
既存事業への DSP技術応用	特殊試験機関連	108	82	39	126	8
	計量制御関連	100	42	63	95	48
	医療機器					
	小計	209	125	102	221	56
合	計	1,732	1,506	1,704	2,146	1,092
売上合計 (通期)		3,238		3,850		

前期好調だった米国現地法人(ADT)が、自動車業界の不振のため伸びず。しかし、今後は政府主導でリチウムイオン電池等の開発が本格化して、試験設備への投資が急拡大する見込み。当社は既に納入実績を積んでおり、今後もアメリカだけでなく中国でも大型案件の引合いが来ている状況。なお、今後の急速な市場拡大が予想される中国においては、販売提携により体制を強化した(トピックス3参照)。

医療・健康機器事業 実績－1



(単位：百万円)

セグメント		21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	前年 同期比	2Q 累計予想	予想比
医療・健康機器 事業	売上高	8,130	5,774	-29.0%	6,270	-7.9%
	売上原価	3,507	3,102	-11.5%	3,160	-1.8%
	販管費	3,418	2,470	-27.7%	2,560	-3.5%
	営業利益	1,205	202	-83.2%	550	-63.3%

業績のポイント

- ロシアの家庭用血圧計が市場縮小により売上減少した影響大
⇒売上高は前期比29.0%の大幅減少
- 販売台数減少に伴い粗利益率が悪化した一方、販管費はロシア子会社（ADR）の費用抑制で大幅減少
⇒営業利益は前期比大幅減だが黒字を確保

医療・健康機器事業 実績－2



(単位：百万円)

製品種別	21 / 3 期 2 Q 累計	22 / 3 期 2 Q 累計	前 同 期 比	2 Q 累 計 予 想	予 想 比
医療機器	1,079	1,114	+3.2%	1,052	+5.9%
健康機器	7,051	4,660	-33.9%	5,218	-10.7%
売上合計	8,130	5,774	-29.0%	6,270	-7.9%

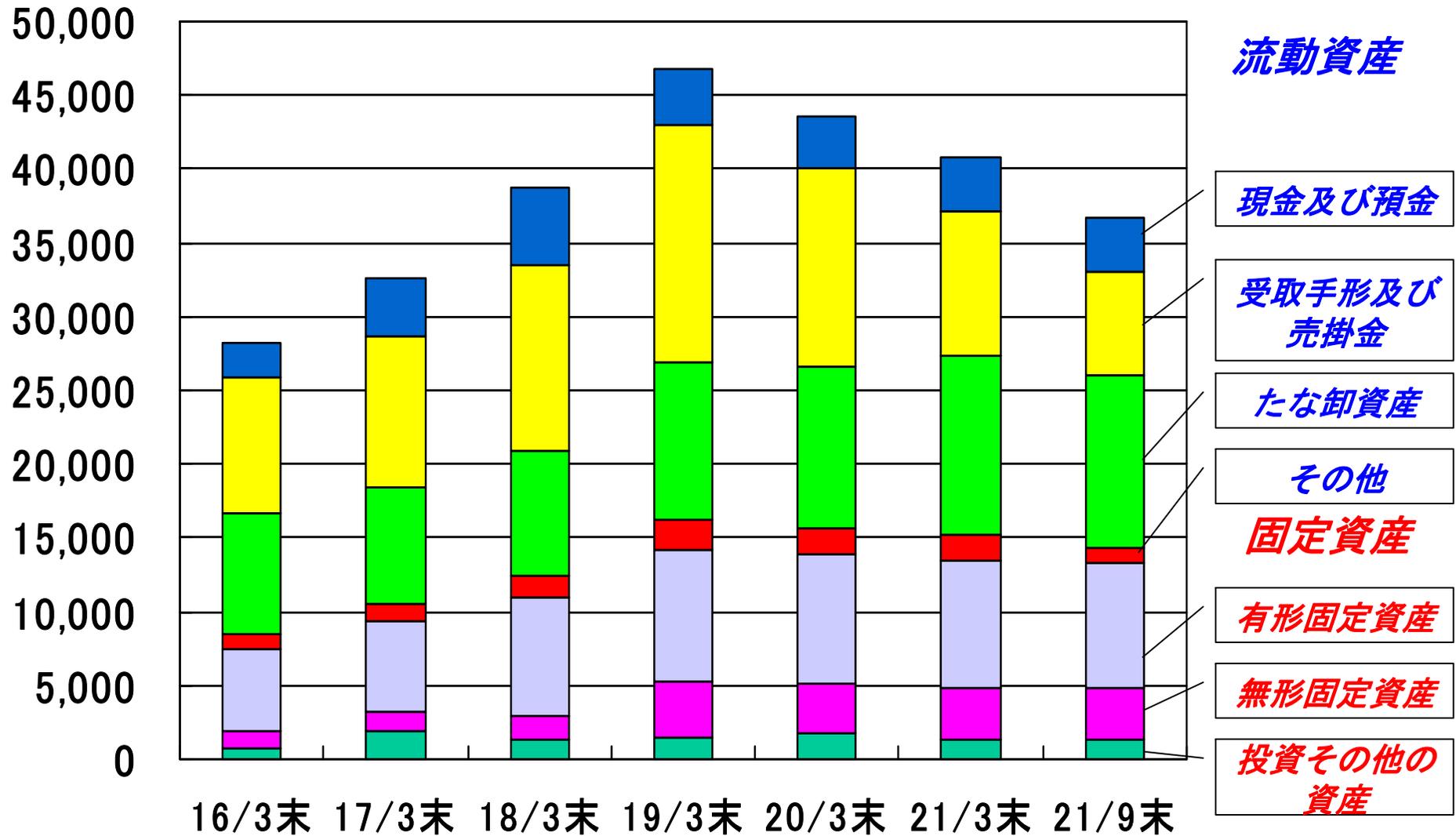
医療機器：厳しい市場環境の中、ほぼ前期並みの実績を維持

健康機器：家庭用血圧計は、ロシアにおけるルーブル安はある程度想定していたものの、販売先の在庫調整等の影響を受けて想定以上の売上減

財務分析（貸借対照表） 資産



(単位：百万円)

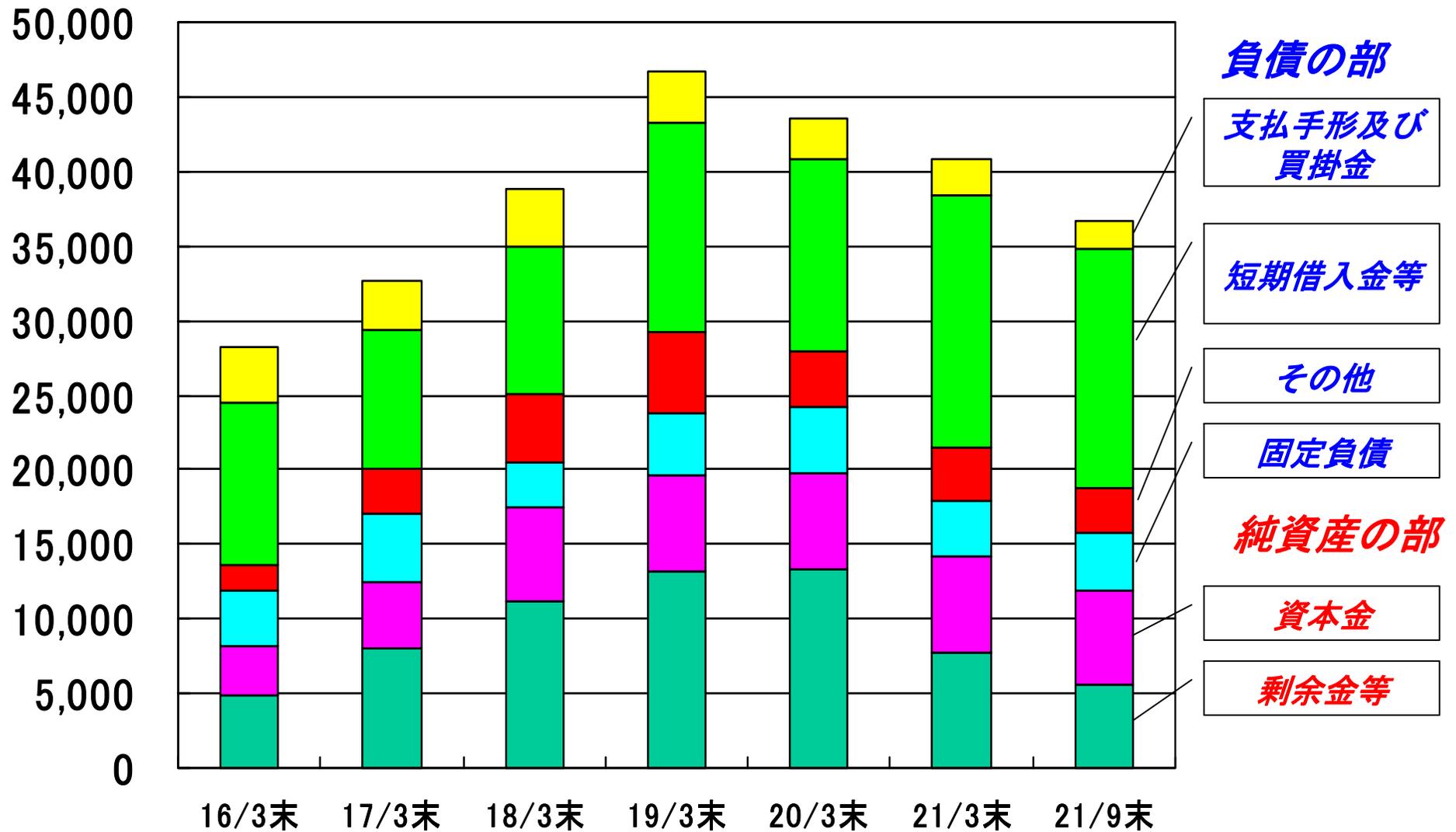


財務分析（貸借対照表）

負債・純資産



(単位：百万円)



財務分析（キャッシュフロー）



■ キャッシュフロー分析

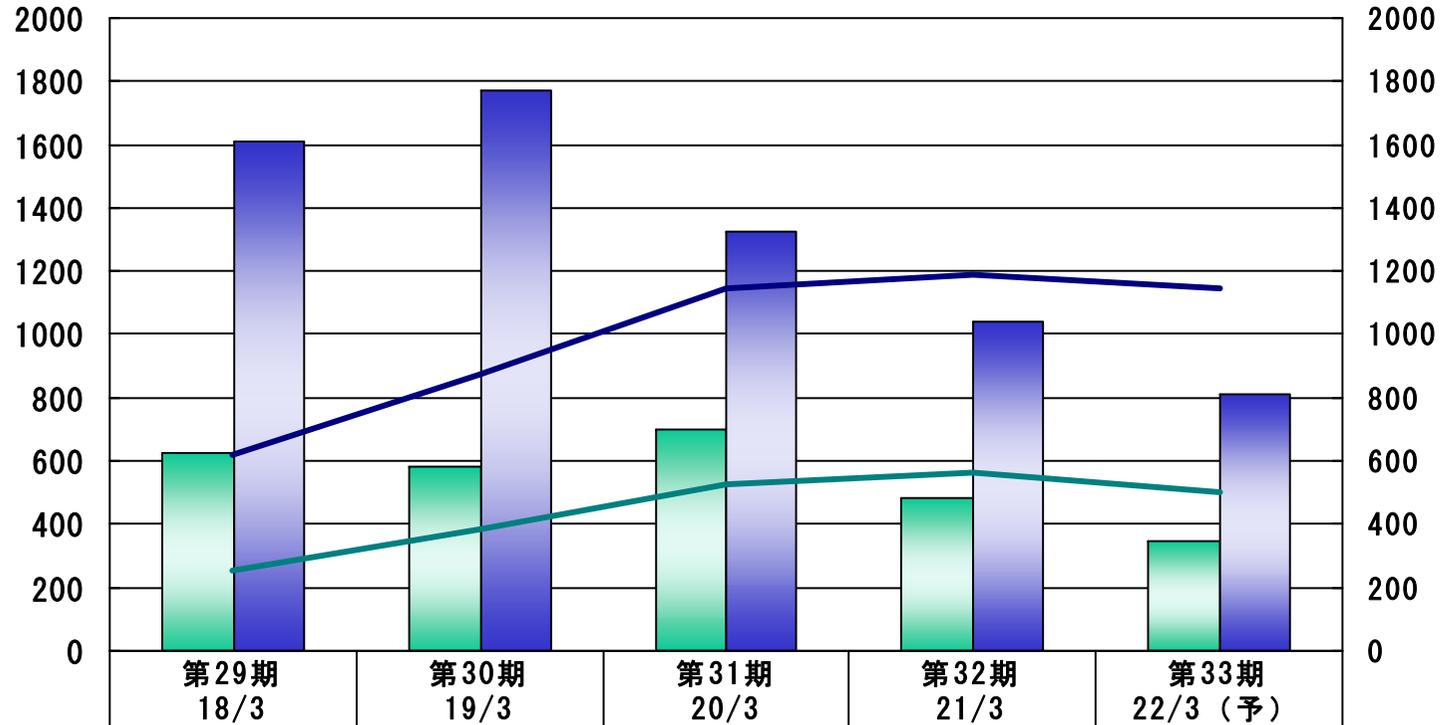
連結キャッシュフロー	21/3期 2Q累計	22/3期 2Q累計	コメント
営業活動によるCF	2,566	1,324	売上債権の減少+2,895、減価償却費+745、たな卸資産の減少+392、税金等調整前当期純損失△1,504
投資活動によるCF	△948	△653	有形固定資産の取得△370、無形固定資産の取得△212、関係会社株式の取得△29
財務活動によるCF	△467	△677	長期借入金の増加+1,037、長期借入金の返済△1,607、短期借入金の純減△108
現金及び現金同等物の増加額	986	△31	
現金及び現金同等物の期末高	4,027	2,868	

設備投資・減価償却費の推移



(単位：百万円)

(単位：百万円)



■ 中間期設備投資	628	580	701	483	346
■ 通期設備投資	1,608	1,771	1,325	1,041	811
— 中間期減価償却費	254	384	529	565	503
— 通期減価償却費	619	870	1,148	1,188	1,148

設備投資は必要最小限にとどめる

22年3月期通期見通し



(単位：百万円)

連結損益	21/3期 (実績)	22/3期 (予想)		前期比	
		上期実績	下期予想		
売上高	32,182	12,486	16,284	28,770	-10.6%
売上原価	16,781	7,227	9,283	16,510	-1.6%
販売費及び一般管理費	15,548	6,826	6,774	13,600	-12.5%
営業利益	-148	-1,567	227	-1,340	- %
経常利益	-1,768	-1,469	39	-1,430	- %
税引き前益	-1,786	-1,504	34	-1,470	- %
当期純利益	-2,264	-2,192	-108	-2,300	- %
1株当たり利益 (円)	-107.06	-109.00	-5.34	-114.34	- %

(注) 下期は1ドル=90円を想定

計測・計量機器事業 見通しー1



(単位：百万円)

セグメント	21/3期 (実績)	22/3期		前期比	
		上期実績	下期予想		
計測・計量機器事業	売上高	16,198	8,519	15,230	-6.0%
	売上原価	9,955	5,236	9,360	-6.0%
	販管費	7,992	3,676	7,430	-7.0%
	営業利益	-1,749	-1,167	-1,560	-

1. 売上

全般的に業績が持ち直しつつある中、下期比較では前期比6.0%増の売上を想定

⇒通期売上高は前期比6.0%の減少

2. 販管費

下期も継続的に販管費の抑制に努めて、通期で7.0%の削減

⇒販管比率ダウンするも黒字化には至らず (通期で1,560百万円の赤字)

計測・計量機器事業 見通し-2



(単位：百万円)

製品種別	21/3期 (実績)	22/3期 (予想)		前期比
		上期実績	下期予想	
計測機器	2,649	1,552	1,906	+30.5%
計量機器	9,675	4,091	4,574	-10.4%
計測・制御・シミュレーションシステム(DSP)	3,527	1,036	1,616	-24.8%
電子ビーム関連ユニット	347	32	423	+31.1%
売上合計	16,198	6,711	8,519	-6.0%

計測機器

: 物性試験機等は電池関連で引き合いが増えてきている

計量機器

: 新製品の拡販等によって回復基調を確実にする

DSP

: DSP応用の新製品(AD7011)の拡販、及び引合いが来ている大型案件の受注成約に注力

電子ビーム関連ユニット: 半導体市況の低迷は続くが、回復の兆しもあり受注獲得に注力

医療・健康機器事業 見通しー1



(単位：百万円)

セグメント	21/3期 (実績)	22/3期		前期比	
		上期実績	下期予想		
医療・健康機器事業	売上高	15,984	7,766	13,540	-15.3%
	売上原価	6,827	4,048	7,150	+4.7%
	販管費	6,353	2,483	4,953	-22.0%
	営業利益	2,805	202	1,437	-48.8%

1. 売上

上期不調の要因であったロシアに回復傾向が見られる事から、下期はほぼ前期並み（前期比1.1%マイナス）を想定

⇒通期売上高は上期不振の影響もあり前期比15.3%の減少

2. 営業利益

ロシア現地法人等、販管費の更なる削減を図る

⇒下期は利益水準が回復してくるが、通期では上期不振が響いて前期比48.8%の減少

医療・健康機器事業 見通しー2



(単位：百万円)

製品種別	21/3期 (実績)	22/3期		前期比	
		上期実績	下期予想		
医療機器	2,334	1,114	1,156	2,270	-2.7%
健康機器	13,650	4,660	6,610	11,270	-17.4%
売上合計	15,984	5,774	7,766	13,540	-15.3%

医療機器：メディカル計量器で新製品を上市、主力製品である自動血圧計はフルモデルチェンジを予定しており、市場の開拓に注力

健康機器：ロシアでは市場競争力は維持しており、石油価格の回復・上昇によってルーブル安が底を打ってきたことから、業績は下期復調の見通し。他の地域においては、経済成長力のあるアジア地域を中心に市場開拓に努める

トピックス 1～次世代試験機の構想について

実車走行



VMS: テストドライバーの感性を
定量化(数値化)

例: 変速ショック、
しゃくりの計測

正しい計測

正しい制御

正しい試験

実車走行の再現可能なC/D

エンジン

ミッション

ステアリング

サスペンション

クランク
シャフト

シリンダ
コントロール

例

変速ショック
しゃくり

燃焼条件の変化

乗り心地

(100Hz ベンチの実現)

トピックス2～VMSシステム

VMS (Vehicle Measurement System)

高精度なホイール分力計を始め、路面状況や運転状況を統合して計測するシステム

システム構成

WFS (ホイール分力計)、WPS (ホイール姿勢センサ)
DSP (AD5435)、慣性センサ、風力・風向計

特徴

- ✓テストドライバーの感性を定量化
- ✓走行中の路面勾配や路面抵抗を求める事が可能
- ✓RR-CD (Real road-Chassis dynamo) の上で実車走行を再現するために、VMS実車測定で計測した基準データを基にRR-CDのパラメータを調整



WPS
ホイール姿勢センサ

WFS
ホイール分力計



トピックス 3 ～中国でのDSPビジネス展開

ビジネス環境

自動車販売台数が1,000万台を超えて、米国・日本を抜いて世界一に



DSP事業に対するニーズが益々アップ

当社の事業戦略

これまで

- ・今年6月にADTがBBK社と販売業務提携を締結
- ・従来のエンジンベンチに加えて電池およびEV/HEVの引合いが来る様になった

これから

- ・サム電子機械及びベスト測器を含めた販路の拡大・確立を目指す

BBK社の概要

社名：BBK Auto Testing Machinery Co., Ltd.
事業内容：自動車開発用試験機の販売
特徴：Burke E. Porter社（米国の自動車試験装置メーカー）の販売提携会社として中国では豊富な販売実績
販売規模：4千万米ドル



トピックス 4 ~汎用CPUボード&ユニット

CPUボードAD7011

高性能で汎用的なCPUボードとして、幅広い機器に搭載可能

今後開発する当社製品の共通プラットフォームに使用して、開発コストを削減

他社機器への組み込み用としても市場開拓を推進

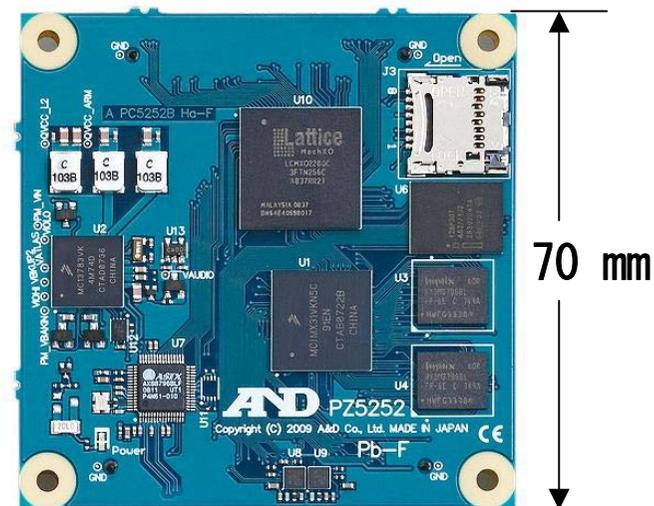
AD7011-EVA

AD7011を搭載したCPUユニットで、これだけで計測・制御用のコントローラ(Math Works社のMATLAB/Simulink用のターゲットマシン)に使用可能

AD7011を評価するためのツールとして使用

このままの状態ですべて計測・制御機器に載せて使用(当社使用・外販ともに)

今年6月の販売後、大学や大手企業から引き合い



トピックス 5 ~ 北米でのDSPビジネス展開



電池試験システム (ADT)

製品特徴

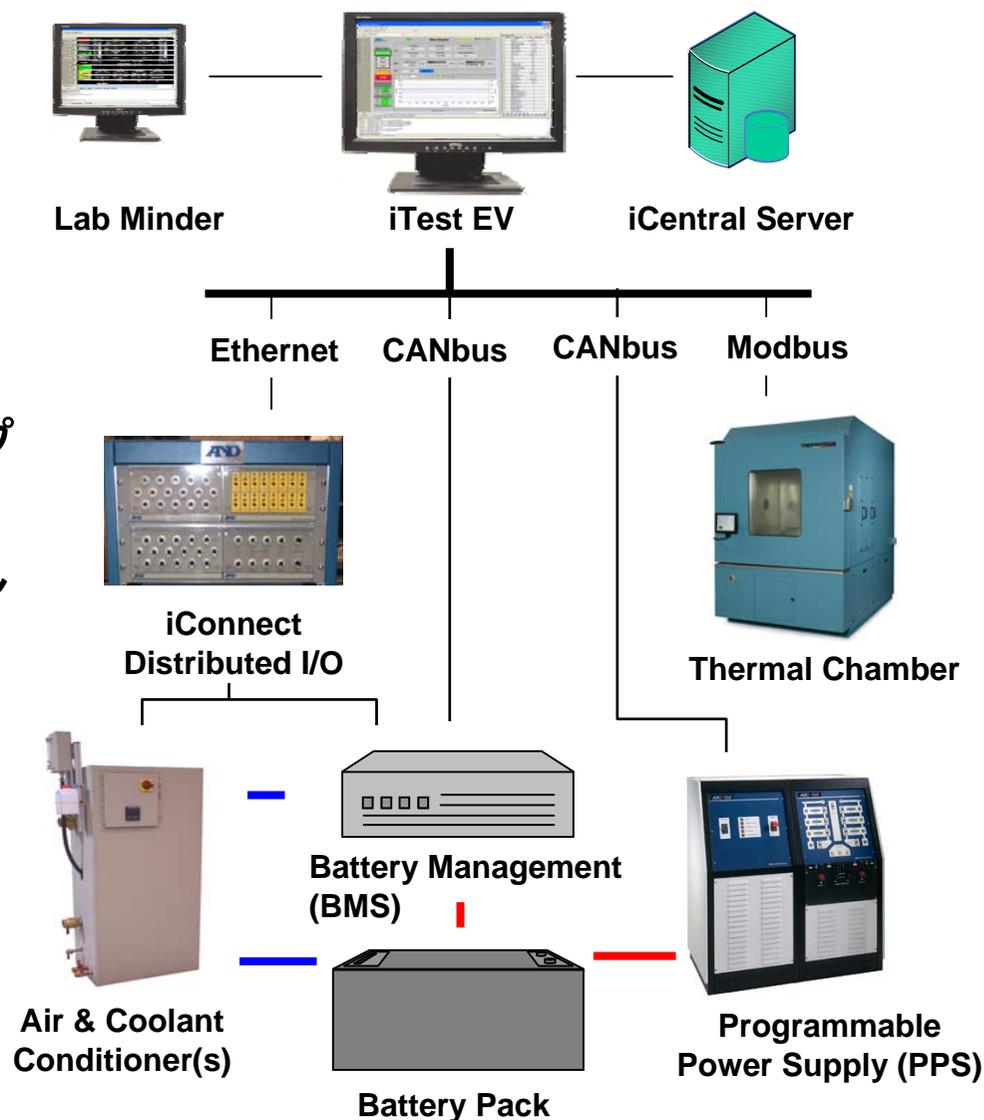
24時間自動的に試験を行う事が出来る高性能な計測・制御システム **iTest**

複数のiTestによるバッテリーテストにおけるプロセス・データを一元管理する **iCentral**

離れた場所からでもテスト全体のモニタリングを行い安全確保を可能とする **Lab Minder**



エンジンテストベンチ等における長年の技術蓄積、及び当社とADTにおける技術融合の成果



トピックス6～収益率改善への取り組み

収益拡大・コスト削減の両面から収益率を改善

収益拡大への取り組み

- ①為替変動に伴う出荷価額の見直し
円高を出荷価額に反映させて一部値上げ
- ②自動車エンジン適合ソフト(ORION)の拡販
自動車メーカーの評価が順調で、今年は拡販開始

コストダウンへの取り組み

- ①固定費の削減
要員及び人件費の削減
- ②製造原価の削減
 - ・購入部品のコストダウン
 - ・生産工数の削減
 - ・外部流出費の削減(内製化の徹底)
- ③開発費・設備投資費の削減

通期に亘って継続的に取り組む

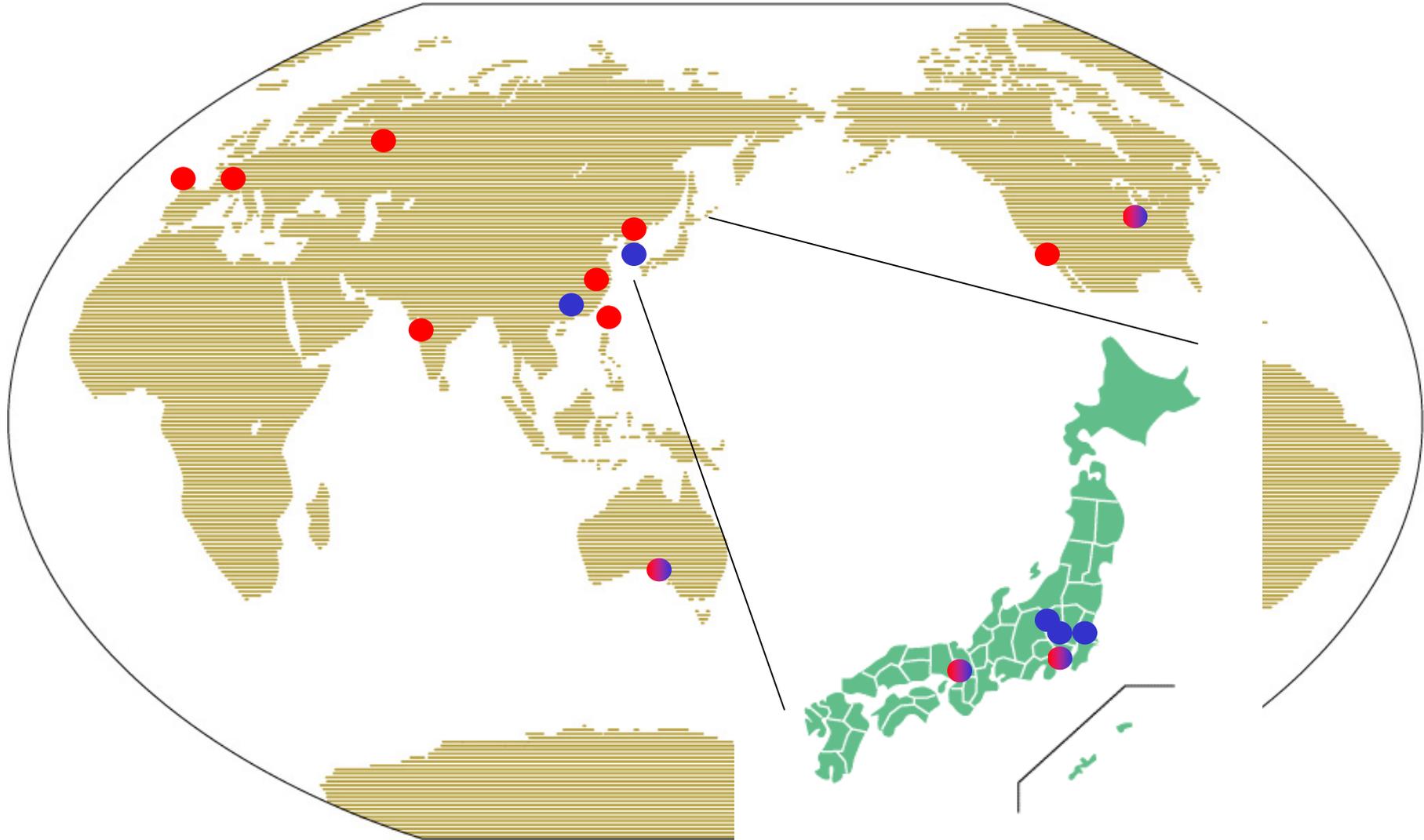
AND
株式会社 **エー・アンド・ティ**

補足資料



- 1 グループの概要
- 2 当社製品紹介（計測機器）
- 3 当社製品紹介（計量機器）
- 4 当社製品紹介（医療・健康機器）
- 5 DSPシステムとは
- 6 DSPシステムの採用事例－1
- 7 DSPシステムの採用事例－2
- 8 電子ビーム関連ユニット
- 9 開発の状況

グループの概要



A & Dは開発および販売を中心に活動
生産主体は国内外関係会社
海外販売は関係会社経由と直販を併用

- 生産・開発関係会社
- 販売関係会社

製品紹介 (計測機器)

種 別	概 要	主 要 製 品
波 形 解 析	音・振動等時間的に変化する物理信号を収集および解析	波形解析システム、FFTアナライザ、データロガー
非破壊検査機器	超音波を利用して溶接欠陥や亀裂・腐食等を調査	超音波探傷器、超音波厚さ計
材 料 試 験 機	材料・部品の引っ張り圧縮強度や粘弾性・粘度を測定	引張圧縮試験機、動的粘弾性測定機、粘度計、摩擦摩耗試験機
電 子 計 測 器	プロからホビーや家庭まで、多種多様に取り揃えたデジタル電子計測機器	オシロスコープ、デジタルマルチメータ、タイマー、温湿度計、直流電源、壁内センサーetc.
油 圧 試 験 装 置	油圧サーボ機構を応用した各種試験装置	油圧式疲労試験機、油圧式振動試験機、油圧加振機等
環 境 計 測 機 器	各種排気ガス濃度測定器を始めとする環境計測機器	エンジン排ガス計測機器、燃料電池関連計測機器、各種ガス分析計等

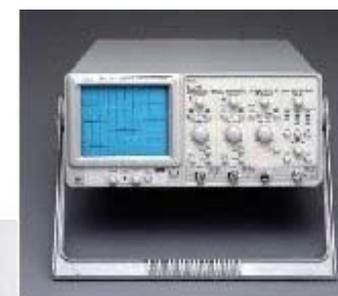


波形解析システム

引張圧縮試験機



防水ペン型温度計



オシロスコープ



超音波探傷器

製品紹介 (計量機器)

種 別	概 要	用 途 等
電子天びん	軽量の物体の質量を高精度に計量する機器で、最大0.01mgまでの計量が可能	医薬品や精密材料等を対象に、研究開発向けから生産・検査まで幅広く使用
電子台秤	中・重量の物体の重量を計量する機器で、防水、防塵、防爆等、様々な環境に対応	厳しい環境下で使用される産業用から家庭で使用されるものまで、幅広い製品群をラインナップ
インジケータ	計量センサから得た信号を質量や力としてデジタル表示、及び制御を行う	粉・粒状物体の自動計量システム、台秤、トラックの積載量を計量するトラックスケール等に使用
ロードセル	金属製の起歪体に加わった荷重による歪みを検出して、電気抵抗値に変換するセンサ	台秤、トラックスケール、フックに吊り下げて計量するクレーンスケール、その他特殊用途に使用



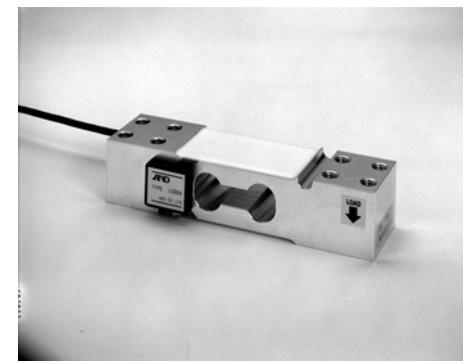
電子天びん



電子台秤



インジケータ



ロードセル

製品紹介 (医療・健康機器)

種 別	概 要	主 要 製 品	特 徴 等
病 院 用 デジタル血压計	医療機関 や高齢者 介護施設 向血压計	携帯型自動血压計	24時間の日常生活での血压変動を測定
		血压監視装置	SpO2(動脈血酸素飽和度)と血压を同時監視
		バイタルセンサ	血压・体温・SpO2・ECG等バイタルサイン測定
		全自動血压計	腕を入れるだけでワンタッチ操作の自動測定
メ デ ィ カ ル 計 量 器	医療機関 や高齢者 介護施設 向計量器	身長体重計	身長・体重をデジタル測定、肥満度等も表示
		ベッドスケール	治療時の体重変化を測定、監視、記録
		バリアフリースケール	フラットな計量台、車イス乗車のままや、手すりにつかまった状態で安全に計測
健 康 機 器	在宅での 健康管理 用機器	デジタル	血压測定に不規則脈波検知、音声等も付加
		上腕式 血压計	
		手首式	小型・軽量サイズで外出先でも手軽に血压測定
		超音波吸入器	温熱、加湿効果でノド、鼻の不快感を緩和
		体 重 計	50 g 単位、肥満・痩せの基準BMIも表示



携帯型
自動血压計



全自動血压計

手首式家庭向
デジタル血压計



家庭向体重計



血压監視装置



上腕式家庭向
デジタル血压計

DSPシステムとは

DSPシステム

■ DSPシステムの特徴

- ◇自動車等の複雑な製品の開発・生産現場において、開発期間の短縮・ローコスト化を実現する画期的なシステムです

つないでテストする



エンジンの試作品



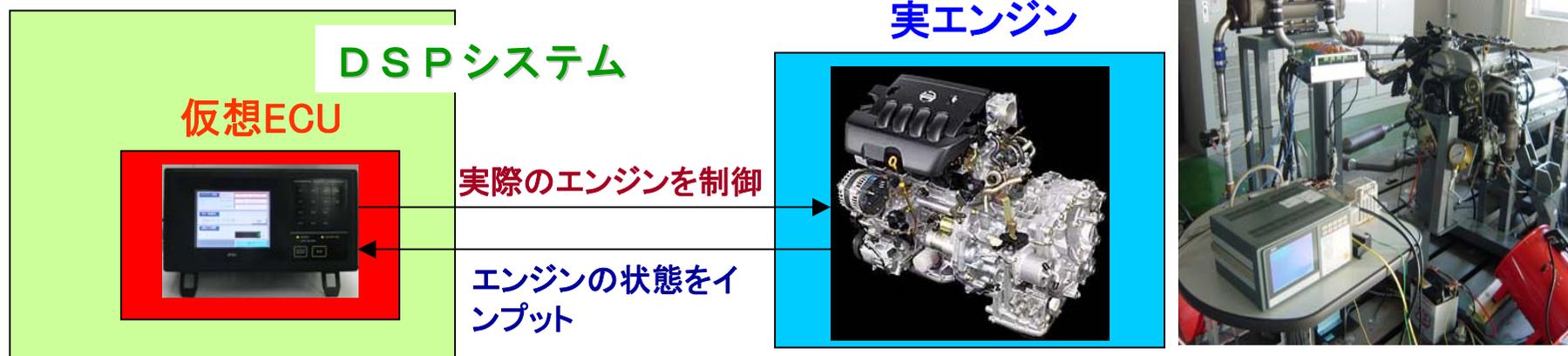
エンジン以外の車両部分をコンピュータにモデル化

エンジン以外の部分が完成していなくても、エンジンを実際の車両に搭載した場合を想定したテストを行う事が可能

DSPシステムの採用事例-1

RPT (Rapid Proto Type)

コンピュータ上にECUの試作モデルを作成して、実際のエンジンを制御してテストを行う



HILS (Hardware In the Loop Simulation)

コンピュータ上に仮想のエンジンや車両のモデルを作成して、試作品のECUのテストを行う



DSPシステムの採用事例-2

ORION

適合支援自動計測
ソフトウェア

1. 適合とは

ECU開発プロセスで、ECUがエンジンや変速機などの制御を最適に行うためにECUの設定作業（チューニング）を行うこと。

2. ORIONの特徴

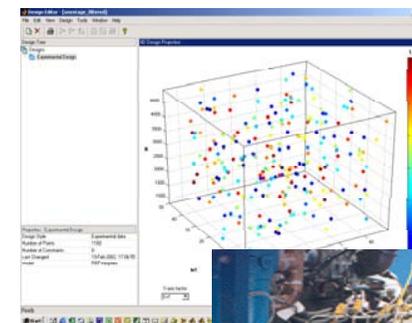
・フレキシビリティ

カスタマイズが容易で、ユーザーが計測アルゴリズムの作成等、各自の仕様に合わせて設定を変更出来る

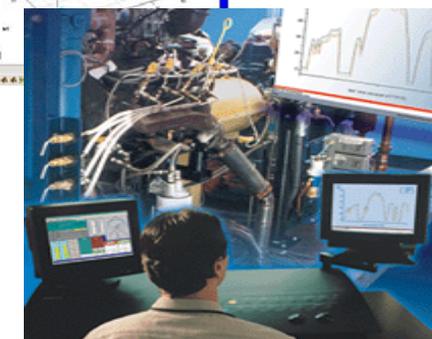
・オープン性

他のシステムとの接続が可能であり、今まで使用していた資産の有効活用が可能

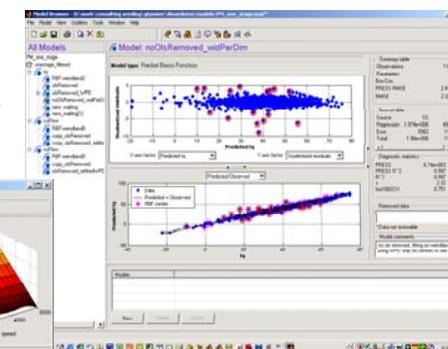
実験計画



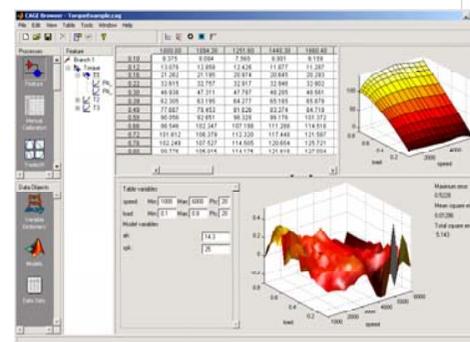
評価試験



ECUのモデル化



適合



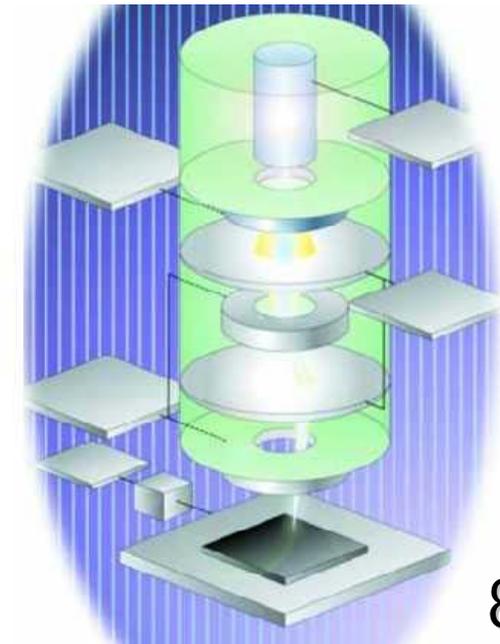
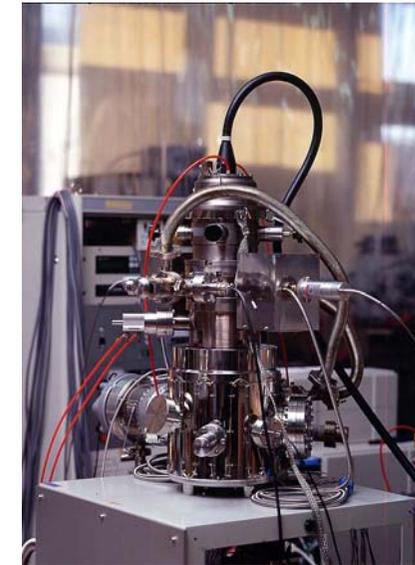
電子ビーム関連ユニット

電子ビーム関連ユニット

微細な半導体の回路を描画するための手段として、主にマスク製造（半導体のネガの様なもの）に電子ビームが利用されていますが、当社は電子ビーム露光装置に組み込む基幹ユニットを半導体露光装置メーカーに提供しています

当社が提供する主要なユニット

- **ビーム偏向回路**
電子ビームの照射方向を制御するもので、精度・速度ともに世界最高水準です
- **電子銃**
電子ビームを発生させる設備で、世界でもトップクラスの出力と安定稼働率を備えています



開発の状況



社内資源の多くを開発に投入し、
各事業分野で継続して開発を実施。

(平成21年9月末/A & D単体)

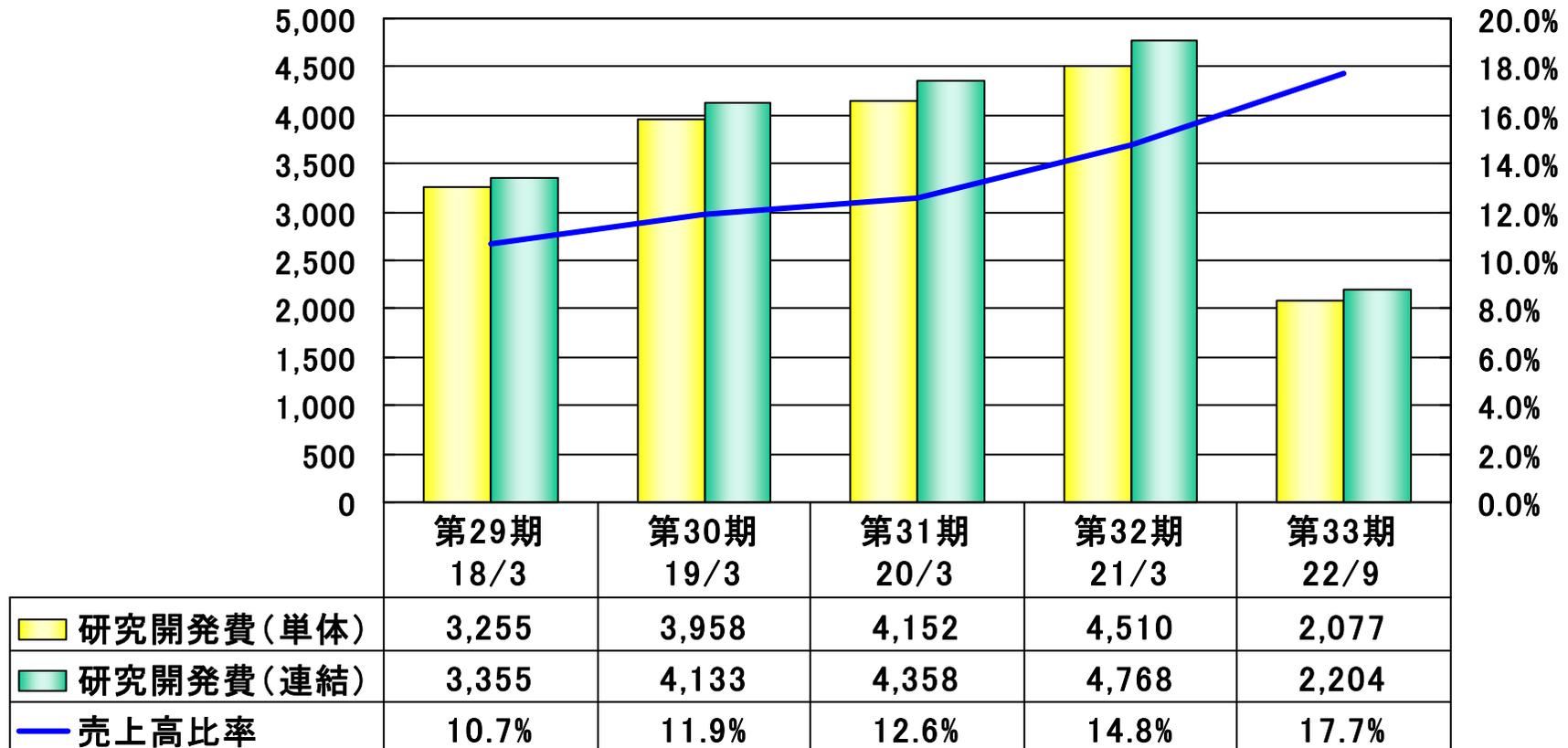
既存事業 178名 (53.6%) 開発人員比率

新規事業 154名 (46.4%) (単体) は49.4%

合 計 332名

研究開発費
(単位:百万円)

比率



※売上高比率は連結売上で算出

AND
株式会社 **エー・アンド・ティ**